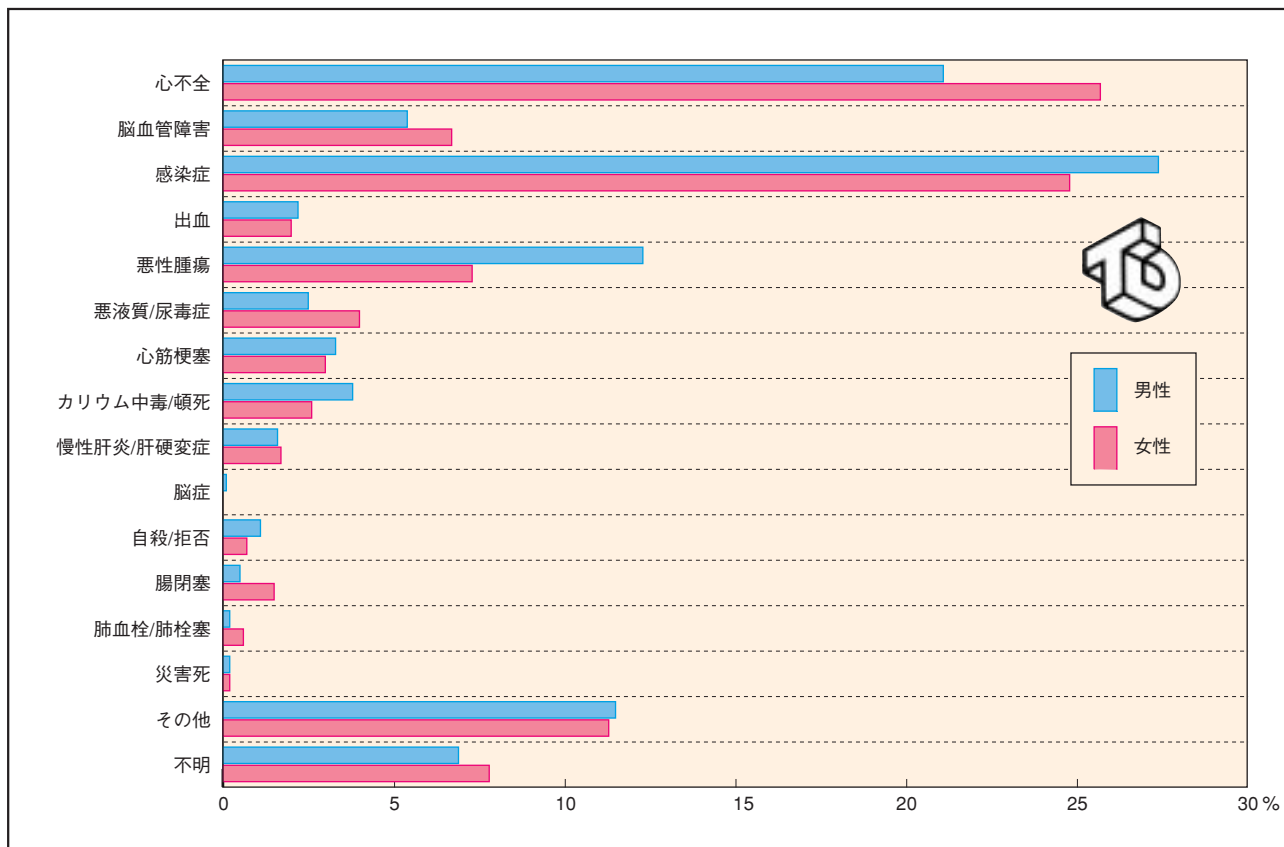


5) 死亡原因

(1) 導入患者の死亡原因分類 (図表16)



死因	男性	女性	合計	記載なし	総計
心不全	380 (21.1)	280 (25.7)	660 (22.8)		660 (22.8)
脳血管障害	98 (5.4)	73 (6.7)	171 (5.9)		171 (5.9)
感染症	494 (27.4)	270 (24.8)	764 (26.4)		764 (26.4)
出血	39 (2.2)	22 (2.0)	61 (2.1)		61 (2.1)
悪性腫瘍	221 (12.3)	80 (7.3)	301 (10.4)		301 (10.4)
悪液質/尿毒症	45 (2.5)	44 (4.0)	89 (3.1)		89 (3.1)
心筋梗塞	59 (3.3)	33 (3.0)	92 (3.2)		92 (3.2)
カリウム中毒/頓死	68 (3.8)	28 (2.6)	96 (3.3)		96 (3.3)
慢性肝炎/肝硬変症	29 (1.6)	18 (1.7)	47 (1.6)		47 (1.6)

死因	男性	女性	合計	記載なし	総計
脳症	2 (0.1)		2 (0.1)		2 (0.1)
自殺/拒否	20 (1.1)	8 (0.7)	28 (1.0)		28 (1.0)
腸閉塞	9 (0.5)	16 (1.5)	25 (0.9)		25 (0.9)
肺血栓/肺栓塞	4 (0.2)	7 (0.6)	11 (0.4)		11 (0.4)
災害死	3 (0.2)	2 (0.2)	5 (0.2)		5 (0.2)
その他	207 (11.5)	123 (11.3)	330 (11.4)		330 (11.4)
不明	125 (6.9)	85 (7.8)	210 (7.3)		210 (7.3)
合計	1,803 (100.0)	1,089 (100.0)	2,892 (100.0)		2,892 (100.0)
記載なし	8	9	17		17
総計	1,811	1,098	2,909		2,909

数値下のかっこ内は列方向の合計に対する%です。

解説

導入患者の死亡原因分類

2006年導入患者の2006年末までの死亡原因を性別に分類して検討した図表である。3年前から死亡原因コードを従来のものから国際疾病分類第10回修正版 (ICD-10) によるコード番号に変更した。男性では、感染症 (27.4%)、心不全 (21.1%)、悪性腫瘍 (12.3%) の順で多く、女性では、心不全 (25.7%)、感染症 (24.8%)、悪性腫瘍 (7.3%) の順が多かった。男女で順位と比率は異なるが、男女ともに2005年と比較して感染症と悪性腫瘍の増加が目立つ結果であった。一方、心不全は男女ともにその頻度が少なくなった。